



中国贸促会专利商标事务所
CCPIT PATENT & TRADEMARK LAW OFFICE

中国知的財産権

ニュースレター



第7号

2023年第7号（全101号）
2023年7月31日

目次

CONTENTS

知財ニュース

中国市場監督管理総局が『知的財産権の濫用による競争排除、制限行為の禁止に関する規定』を公布	3
2022年中国知的財産権の認可・登録数が引き続き増加	4
中国税関総署 今年も知的財産権保護の強化を継続	5
昨年 中国国家林草局が植物新品種権登録申請1828件を受理	6

AI・IoT関連情報

2023モバイルインターネット青書：中国のチップ産業が初歩的なエコシステムを構築	7
中国初！AI医師と人間医師が共同で問診	9
デジタルですべてが繋がり、テクノロジーが素晴らしい生活を造り出すー2023年世界デジタル経済大会のテーマ別展示を見学	11

中国市場監督管理総局が『知的財産権の濫用による競争排除、制限行為の禁止に関する規定』を公布

 https://www.gov.cn/lianbo/bumen/202306/content_6889117.htm

イノベーションを奨励し、知的財産権分野の公平な競争の市場秩序を維持するため、中国市場監督管理総局が『知的財産権の濫用による競争排除、制限行為の禁止に関する規定』を改正、公布した。同『規定』は2023年8月1日より施行される。

2015年に制定された『知的財産権の濫用による競争排除、制限行為の禁止に関する規定』と比較して、以下に重点を置いて改正、改善がなされた。

第一に、「知的財産権の濫用による競争排除、制限行為」の解釈が拡大された。知的財産権の行使を利用した独占協議の締結、支配的な市場地位の濫用、競争を排除・制限する結果をもたらす、又はもたらす虞のある経営者の集中など三タイプの独占行為が対象となった。

第二に、知的財産権の行使による独占行為の有無の判断規則が整備された。2022年改正の独占禁止法に基づき、知的財産権の特徴と監督管理の実情とを結びつけて、関係市場の定義、支配的な市場地位の認定と推定、関連独占行為の認定、経営者集中の審査の考慮要素及び追加の制約条件など具体的な類型を補完、細分化し、規則のガイダンスと操作性を高めた。

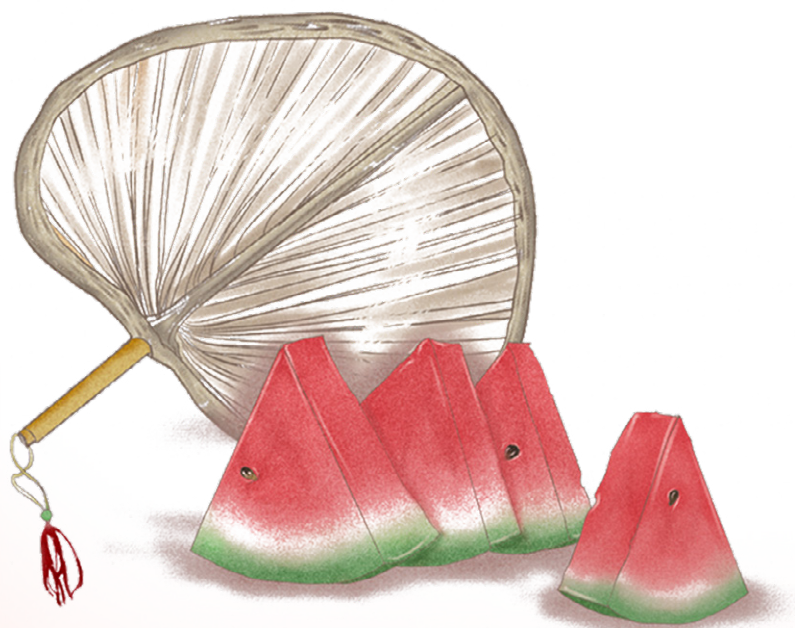
第三に、知的財産権分野の典型的で特殊な独占行為に対する規制を強化した。例えば、パテントプールの関連規定を改善して、パテントプールの事業体及び構成員によるパテントプールを利用した独占行為を禁止したこと、標準制定と実施における関連独占行為の規制を強化して支配的な市場地位を有する経営者の標準必須特許を利用した「パテントホールドアップ」を禁止したことが挙げられる。

中国市場監督管理総局は『知的財産権の濫用による競争排除、制限行為の禁止に関する規定』の公布を機に、今後知的財産権保護や独占禁止などの任務を果たし、イノベーション要素の自主的で秩序ある移動と効率的な配分を促し、公平な競争の市場秩序を着実に維持していく。

2022年中国知的財産権の認可・登録数が引き続き増加

 <http://www.nipso.cn/onevsn.asp?id=54494>

中国国家知識産権局は6月30日に記者会見を開き、『2022年中国知的財産権保護状況』白書を発表した。白書によると、2022年末現在で、中国の特許有効数は同期比17.1%増の421万2000件、実用新案有効数は同期比17.2%増の1083万5000件、意匠有効数は同期比9.7%増の283万2000件であった。商標有効登録数は同期比14.6%増の4267万2000件、著作権登録総数は同期比1.4%増の635万3000件であった。累計2495点の地理的表示製品が承認され、累計7076件の地理的表示が団体商標又は証明商標として登録され、市場主体2万3500社が地理的表示専用標識の使用を承認された。この1年間に受理した農業植物新品種登録申請は1万1000件で、同期比15.2%増加し、3375件に権利を付与した。累計8836件の草木植物新品種登録申請を受理し、4055件に権利を付与した。国家知識産権局の張志成報道官は、これらのデータからわかるように、2022年知的財産権の認可・登録数は引き続き増加し、審査の質と効率が着実に向上していると述べた。



中国税関総署 今年も知的財産権保護の強化を継続

 <http://finance.people.com.cn/n1/2023/0614/c1004-40013175.html>

中国税関総署は6月13日、定例記者会見を開催して税関総署のビジネス環境の最適化に関する16条の実施状況を紹介した。同署総合業務司の呉海平司長は、今年税関は知的財産権の保護を引き続き強化していると述べた。

呉海平司長によると、ビジネス環境の最適化に関する16条のうち、知的財産権保護に関する措置は主に以下の三つである。

一、税関による知的財産権の税関保護の「龍騰キャンペーン2023」の継続的实施。毎年実施しているこのキャンペーン活動は今年で7回目となる。税関による独自ブランドの知的財産権保護の強化がその目的であり、中小企業の海外における権利保護のための指導と支援が今年の「龍騰キャンペーン」の重点である。

二、配送ルートをめぐる知的財産権保護のための「藍網キャンペーン2023」の実施。このキャンペーンはネットショッピングが好きな人々に密接に関係している。国際郵便、速達便及び越境電子商取引分野で多発する権利侵害を抑制するために、専門的なガバナンスを実施し、法執行チームを組んで「化整为零（パーツに分解して密輸）」や「蚂蚁搬家（頻繁に往来して密輸）」型の権利侵害行為の取締りを強化し、郵送物に係る権利侵害に対する取締りの効率と効果を向上させる。

三、越境電子商取引に取り組む企業を対象とする知的財産権政策の宣伝活動とリスク提示を強化し、企業がオリジナルブランドの育成を加速し、経営者としての遵法精神を向上させ、権利侵害リスクを防止、解消し、国際市場を拡大するよう奨励している。

また、税関による中小企業の知的財産権保護の強化に力を入れ、知的財産権保護のニーズのある中小企業が企業商標、コア特許などの税関保護を申請することを奨励し、企業が税関の知的財産権保護措置を活用して合法的な権益を維持するよう指導し、企業の知的財産権保護能力を向上させている。



昨年中国国家林草局が植物新品種権登録申請 1828件を受理

 <http://ipr.mofcom.gov.cn/article/gnxw/zwxpz/202307/1979555.html>

中国国家林業及び草原局科学技術発展センターの龔玉梅副主任は6月30日の国家知識産権局の記者会見で、昨年国家林草局が植物新品種権登録申請1828件を受理し、651件に権利を付与し、申請件数は同期比27%増で再び過去最高を更新したこと、また今年6月末現在で累計9572件の草木に係る植物新品種権申請を受理し、累計4272件に権利を付与したことを紹介した。

また、紹介によると、国家林草局は昨年6月に『2022年の偽・粗悪の草木種苗の育成・販売及び植物新品種権侵害に対する取締りの実施に関する通知』を発表し、力を結集して草木の植物新品種権の侵害、詐称の取締りを展開し、植物新品種に関する行政法執行の計画と指導を強化して、法執行業務の権威を高めた。懲罰的賠償をさらに増やし、行政法執行を強化するため、『草木に係る植物新品種の保護に関する行政法執行弁法』を改正中で、現在すでに意見募集稿の作成が完了している。

2023モバイルインターネット青書： 中国のチップ産業が初歩的なエコシステムを構築

 <http://yjy.people.com.cn/n1/2023/0628/c457728-40023097.html>

人民網研究院が編纂したモバイルインターネット青書『中国モバイルインターネット発展報告（2023）』が6月28日、北京で正式に発表された。その中で、「2022年中国チップ産業の発展および未来の戦略」と題する文章は、現在、世界のチップ産業の市場規模は成長を続けており、中国のチップ生産量が急増し、輸出入規模も徐々に拡大し、初歩的なエコシステムが構築され、チップ産業チェーンのコアプロセスにリーディング企業が湧き出たと指摘している。

同文によると、情報技術の基本的な構成要素として、チップは現代の生活においてかけがえのない役割を果たしている。5G技術、AI、IoT、スマートカーなど、いずれの産業もチップのサポートと切り離せない関係があり、チップはすでにデジタル経済の「礎石」となっている。現在、世界のチップ産業はモデル転換期を迎えており、電子情報化、インテリジェント化への社会発展とチップのサプライチェーンとの矛盾が、世界のチップ不足を招いている。国際競争の影響を受ける中で、中国のチップ産業は新たな発展のチャンスを迎えている。

さらに同文ではチップ産業の発展状況の分析がなされている。規模的には、世界は安定傾向にあり、中国は急成長している。中国の川下市場の電子消費、新エネルギー車のニーズが旺盛で、チップ産業の生産量の成長を牽引している。過去5年間の発展動向を見ると、生産規模が全体的に拡大している。2022年の産業の輸出入規模は2021年ほど大きくはないが、輸出入全体の傾向から見ると、中国のチップ産業の輸出入規模は徐々に拡大している。

ニーズ面では、アプリケーションシーンが豊富であるため、業界のニーズも高まっている。デジタル化の加速がチップ需要の持続的な増加を促し、アプリケーションシーンの豊かさと多様性がチップの多様な発展を促進し、5Gなどの情報技術のイノベーションがチップのアップグレードを繰り返させている。

構造面では、エコシステムは一先ず確立したばかりで、プロセスはまだ改善する必要がある。世界の半導体産業は景気が上向いており、ウェハー工場の設備投資が増え続け、半導体材料のニーズも引き続き高まっている。チップ設計業界は、自給自足の強化、政策の支援、仕様のアップグレード、革新的なアプリケーションなどの要素を受けて、急成長の傾向を維持している。チップ設計のリーディング企業が台頭し、国産チップの性能が徐々に改良され、設計業界の活発な発展が応用分野の拡大を促している。チップはますます多くの新しい分野で応用され、モバイル通信、スマートカー、電子消費、AIなどの産業の発展に拍車をかけている。

また、同文では、将来の発展戦略について提案がなされている。第一に、政策支援を強化し、良好な環境を作り、国家と地方政府は、チップ産業の発展をサポートする政策を策定する。第二に、開放を拡大し、外資の参入を誘致し、関連法律を整備して良好な投資環境を作る。第三に、産業エコロジーを改善し、世界最大のチップ市場として、川下市場の優位性を活用し、応用面を拡大することで産業エコロジーを改善する。





中国初! AI医師と人間医師が共同で問診



<http://www.chinanews.com.cn/gn/2023/07-03/10035711.shtml>

6月30日、「AI医師」と人間医師の一致性の評価が成都高新海爾森病院で行われた。当日、120人以上の患者と四川大学華西病院の10人の主治医が評価・研究に参加した。主催者側のスタッフによると、「AI医師」の診療評価は中国初となるという。

「AI医師」研究開発の目的は人間医師の問診のサポート

問診室には循環器内科、泌尿器科、整形外科などを含む7つの診療科・部門と8つの問診台が設けられた。各診察台には1人の医師アシスタントが患者の症状をテキスト形式で「AI医師」MedGPTに伝え、人間医師が同時に問診システムで患者の情報を入手した。

MedGPTに関する評価の正確性を保障するために、人間医師は患者と対面の診察を行わなかった。「今回の評価は決してAIと人間の競争ではない。MedGPTを開発した目的は、持続的な最適化により、将来AI医師に人間医師の問診をサポートさせることである」。スタッフはこのように述べ、MedGPTは主に患者の頭痛や発熱など初診の問題を解決し、考えられる患者の病気の範囲を人間医師が判断する際の手助けとなると語った。また、MedGPTにより患者は自身の症状や治療期間中の食事の注意事項などを知ることができるという。

今回の評価では、同じ症例について左右の画面でMedGPTと人間医師が問診をし、リアルタイムで比較を行った。MedGPTの問診では、プロセスが詳細に示され、すべての可能性が一度に示されると同時に、複数の質問がダイアログで表示され、患者の一連の回答によって無関係な項目を排除し、比較的狭い範囲での可能性のある結果まで絞り込む。一方、人間医師の問診は、直観的でシンプルかつ明快である。

AIと人間の問診結果の一致性が96%

7人の専門家・教授が6月30日夜、91人分のカルテの審査・チェックを行い、MedGPTの問診、診断、治療アドバイス、検査補助案、データ分析の正確性や説明可能な情報の提供、自然言語問診とインタラクションの7つの評価項目について採点した。

最終評価結果は、人間医師の総合得点は7.5で、AI医師MedGPTは7.2だった。MedGPTと四川大学華西病院主治医の得点結果の一致性は96%に達した。

北京大学人民病院整形外科の薛峰主任医師は、同日夜のオンライン生配信において、AI医師の問診結果は全体的に感触が良いとコメントした。また、「整形外科医の問診で最も重要なのは『体を診ること』であり、患者の骨の問題を検査することだが、AI医師MedGPTはそれができないため、人間医師が必要となる」と指摘した。

中日友好病院呼吸器科の劉国梁主任医師によると、AI医師はあらゆる病気の可能性と原因を想定し、薬物アレルギーなどのあらゆる側面を想定できるため、確かに人間医師が自身の知識構造を改善し、拡張するのをサポートするが、検査項目の推薦が重複しやすく、一部の検査項目は不要な場合がある。

主催者側のスタッフは取材に対し、「MedGPTは現時点で3000種以上の一般的な病気の問診が可能である。年末までに第1段階のテストを完了する予定であり、問診可能な病気の種類はさらに増えるだろう」と述べた。





デジタルですべてが繋がり、テクノロジーが素晴らしい生活を造り出すー2023年世界デジタル経済大会のテーマ別展示を見学

🔍 <http://kpzg.people.com.cn/n1/2023/0705/c404214-40028376.html>

2023年世界デジタル経済大会が7月4日に北京で開幕した。

生態認証(バイオメトリクス認証)技術は、世界の決済技術発展の重要なトレンドとなっている。展示ブースのスタッフは、「手のひら認証技術は掌紋や静脈などの重要な情報を利用しており、数多くのデバイスの手のひら認証モデルに利用でき、光りや手のひらの姿勢などの要素に左右されず、ユーザーにより効率的で便利な決済体験をもたらす」と紹介した。現在、手のひら認証技術はすでに北京軌道(地下鉄)大興空港線などで応用されている。

現在、テクノロジーとデータを核心とするデジタル経済の活発化が、中国経済の質の高い発展の最も重要な原動力となっている。今回のテーマ別展示には110社の企業が出展し、国内外のデジタル経済産業の重要な成果を展示した。

北京・天津・河北協同発展展示エリアでは、天津港の「インテリジェント・ゼロ・カーボン」コンテナターミナルが大型スクリーンに映し出されている。天津港グループデジタル化変革室技術高級責任者の李秋男氏は次のように紹介した。「これは複製と普及が可能な最新世代の全自動化コンテナターミナルであり、新ターミナルの建設と旧ターミナルの改造を同時に考慮でき

る。5G、北斗、AI、IoTなどの技術の融合・応用を通じて、ターミナルの生産と運営のハイレベルなインテリジェント化を実現し、L4レベル自動運転技術の港湾での初めての大規模ビジネス運営を実現し、特に水平輸送イノベーションの面では世界をリードしている。風力と太陽光の応用を通じて、ターミナルは100%のグリーン電力と自給自足に達し、ゼロエミッションを実現した。」

百度のブースでは、ベルトコンベア上の複数のスマートウォッチのスクリーンが品質検査を素早く通過している。百度智能曇開物インダストリアル・インターネット・プラットフォームの関連責任者によると、百度のAIアルゴリズムモデルを従来のカメラに組み込むことで、百度のAI品質検査システムが対象物表面にある欠陥をインテリジェント識別し、欠陥のある製品を自動的に特定する。1台の装置は10人の品質検査員に相当し、作業員による重複労働を大幅に削減し、出荷品の良品率を効果的に向上させる。百度のAI品質検査システムは3年連続で中国市場シェア1位を占めている。

AI基盤モデルは世界の新しいAI技術発展をリードしており、特に安定しコストパフォーマンスの高いスーパーコンピューティングパワーリソースのサポートを必要としている。北京スーパークラウドコンピューティングセンターのブースでは、スーパーコンピューティングアーキテクチャに基づく基盤モデルGPU(グラフィックプロセッサ)コンピューティングパワー、安定したコンピューティングサービスプラットフォーム、7×24時間サービス保障システムが展示された。北京スーパークラウドコンピューティングセンターの技術ディレクター甄亜楠氏は、「『北京市AGI産業のイノベーションパートナーシッププログラム』第一陣のコンピューティングパートナーとして、我々は、中国国内で先駆けてスーパーコンピューティングイノベーションサービスモデルを展開しており、現在、中国国内に20万人以上のユーザーにサービスを提供している」と語っている。

チャイナテレコムブースに展示された国民健康ビッグデータプラットフォームと医療画像クラウドプラットフォームが大きな注目を集めた。スタッフは、「自社開発のクラウドネットワークとシステムの組み合わせにより、医療データが異なるノードで相互接続でき、人々の医療へのアクセスが容易になり、医療サービスの質が向上し、業界の関連問題を解決できる」と紹介した。現在、チャイナテレコムが構築した国家クラウドは全国の関連インフラをカバーしており、デジタルチャイナ建設の重要基地の構築に役立っだろう。

ENRICHING YOUR IDEAS

北京本部

住 所: 〒100031 中国北京市復興門内大街158号遠洋大厦10階
Tel: +86-10-6641-2345 Fax: +86-10-6641-5678/6641-3211
Email: mail@ccpit-patent.com.cn

東京オフィス

住 所: 〒100-0004 日本東京都千代田区
大手町二丁目2番1号新大手町ビル2階265区
Tel: +81-3-6262-6643
Fax: +81-3-6262-6645
Email: tokyo@ccpit-patent.com.cn

ニューヨークオフィス

住 所: One Penn Plaza Suite 4425 New York,
NY 10119 U.S.A.
Tel: +1-212-868-2066
Fax: +1-212-868-2068
Email: newyork@ccpit-patent.com.cn

シリコンバレーオフィス

住 所: 3945 Freedom Circle, Suite 550,
Santa Clara, CA 95054
Tel: +1-408-855-8628
Fax: +1-408-855-8639
Email: siliconvalley@ccpit-patent.com.cn

マドリードオフィス

住 所: Calle del Principe de vergara 13, 5ºD,
28001, Madrid, Spain
Tel: +34-910-66-3553
Email: madrid@ccpit-patent.com.cn

香港オフィス

住 所: 香港灣仔港灣道一号
会展広場ビル34号09室
Tel: +852-2523-1833
Fax: +852-2523-1338
Email: hongkong@ccpit-patent.com.cn

上海オフィス

住 所: 上海市静安区威海路567号
晶采世紀大厦18階
Tel: +86-21-6288-8686
Fax: +86-21-6288-3622
Email: shanghai@ccpit-patent.com.cn

広州オフィス

住 所: 広東省広州市天河区天河北路233号
中信広場11階1112-1113室
Tel: +86-20-3877-0278
Fax: +86-20-3877-0297
Email: guangzhou@ccpit-patent.com.cn

深センオフィス

住 所: 深セン市福田区嘉里建設広場
T3ビル13階
Tel: +86-755-3304-6671
Email: shenzhen@ccpit-patent.com.cn

武漢オフィス

住 所: 湖北省武漢市洪山区関山大道473号
光谷新發展国際センターB棟5階 06-116
Tel: +86-27-8720-0400
Email: wuhan@ccpit-patent.com.cn